



令和4年5月24日
道路局高速道路課

首都高速道路等の料金改定後（1か月）の交通状況について

首都圏三環状道路を中心としたネットワーク整備が進展しつつある中、首都圏の高速道路がより効率的に賢く使われるよう、本年4月より首都高速道路等の料金改定が実施されました。料金改定後の交通状況をお知らせいたします。

<料金改定後の交通状況（主なポイント）>

料金改定後、主に次のような状況が確認されました。

- ・首都高速の長距離利用が減少し、都心通過が減少
- ・首都高速の深夜利用が増加する一方、朝夕のピークなど日中の利用が減少
- ・首都高速の渋滞が緩和

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 辛嶋（内線 38314）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

首都高速道路等の料金改定後(1か月)の交通状況

- 令和4年4月より、首都高速道路等の料金改定を実施。
(上限料金の引上げ、深夜割引の導入、多頻度割引の拡充、千葉外環迂回利用割引の導入など)
- 料金改定後(1か月)の交通状況は次の通り。

①首都高速の長距離利用が減少し、都心通過が減少

- ・首都高速の全体交通量はコロナによる行動制限のあった前年とほぼ同水準。
- ・距離別では、長距離(36km超)の利用が減少。一方、短距離の利用は増加(回復)。
- ・都心通過利用が減少。

②千葉外環の利用が増え、都心通過が減少

- ・千葉外環迂回利用割引が適用される三郷⇔神奈川方面は、6号三郷線経由の利用が減り、都心通過利用の減少に寄与。
- ・6号三郷線の渋滞損失時間は7%減少、6号向島線の渋滞損失時間は9%減少。

③深夜利用が増加する一方、朝夕のピークなど日中の利用が減少

- ・首都高速で新たに深夜割引が導入された0時~4時の交通量は前年比で13%増加。
- ・4時~24時の交通量は2%減少。
朝ピーク時間帯(7時台)の交通量は4%、夕ピーク時間帯(17時台)の交通量は2%減少。

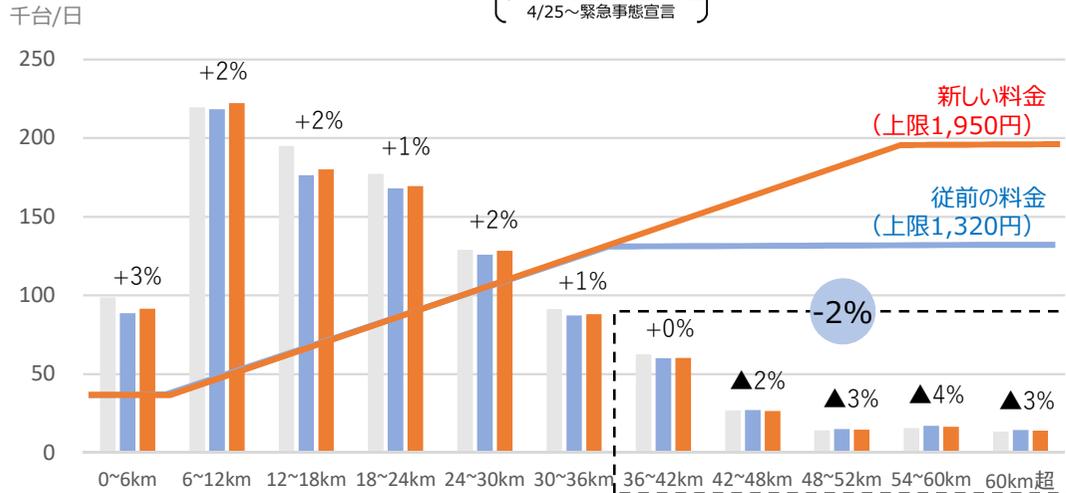
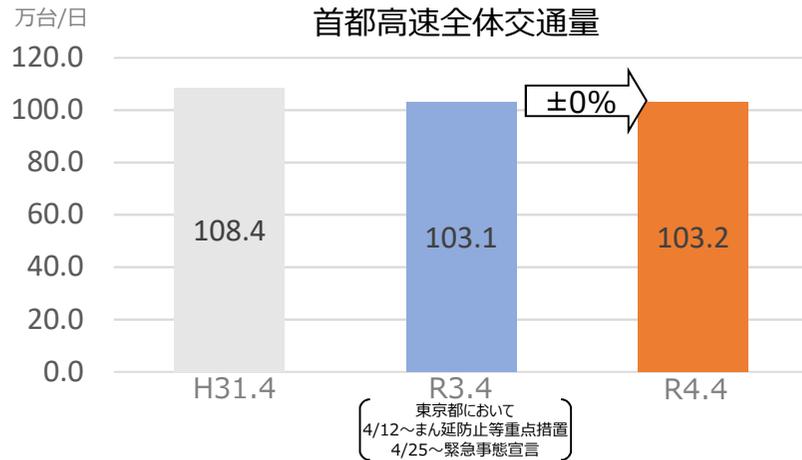
④首都高速の渋滞が緩和

- ・首都高速の渋滞損失時間は前年比で10%減少。
(コロナ禍前の平成31年比で28%減少)

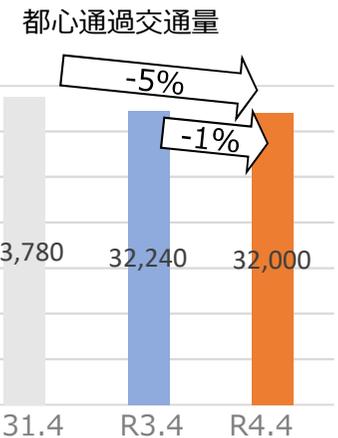
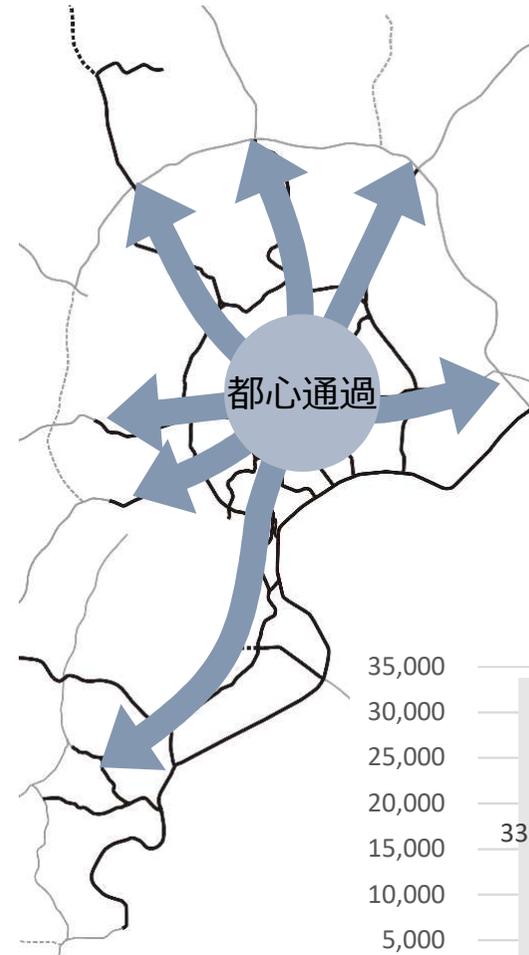
首都高速の長距離利用が減少し、都心通過が減少

- 首都高速の全体交通量はコロナによる行動制限*のあった前年とほぼ同水準。
- 距離別では、長距離（36km超）の利用が減少。一方、短距離の利用は増加（回復）。
- 都心通過利用が減少。

*東京都において4/12からまん延防止等重点措置、4/25から緊急事態宣言。
埼玉県、千葉県、神奈川県において4/20からまん延防止等重点措置。



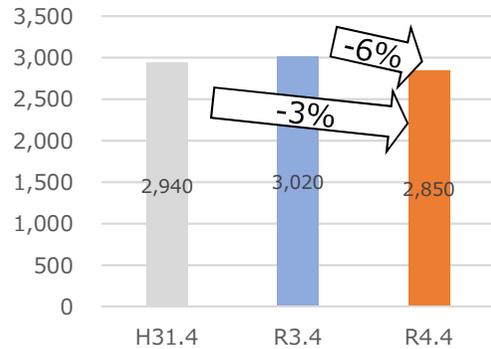
※全体交通量は通行台数（特異日を除く平日平均）
 ※都心通過交通量および距離別交通量はETCデータによる集計（特異日を除く平日平均）
 ※都心通過交通量は、首都高速（都心部）を経由して、首都高速とNEXCOの接続部・JCTを相互に利用する交通量
 （近年の開通により比較困難な接続部・JCT（横浜青葉JCT・横浜港北JCT・京葉道路接続）を利用する交通量を除く）
 ※R4.4の各数値は速報値
 ※増減率の数字はR3.4対R4.4



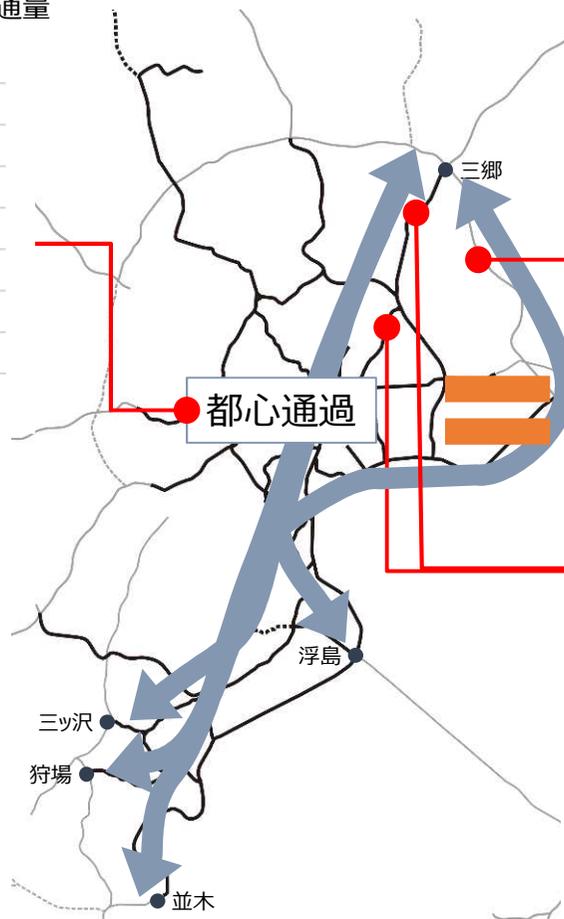
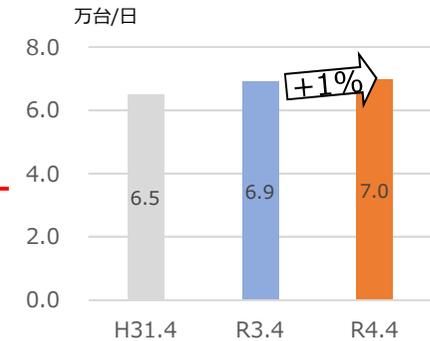
千葉外環の利用が増え、都心通過が減少

- 千葉外環迂回利用割引が適用される三郷⇔神奈川方面は、6号三郷線経由の利用が減り、都心通過利用の減少に寄与。
- 6号向島線の渋滞損失時間は9%減少、6号三郷線の渋滞損失時間は7%減少。

都心通過（三郷⇔三ツ沢・狩場・並木・浮島）の交通量
台/日



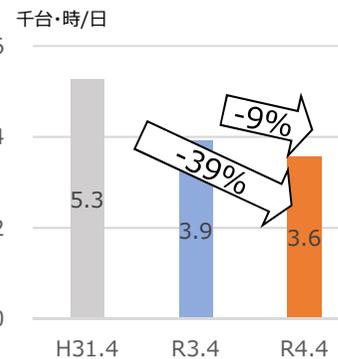
千葉外環の交通量 ※H30.6開通



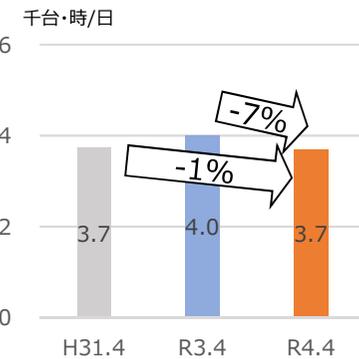
都心迂回

本年4月から千葉外環迂回利用割引が導入
(都心通過の際の料金と同額になるよう割引)

6号向島線の渋滞損失時間



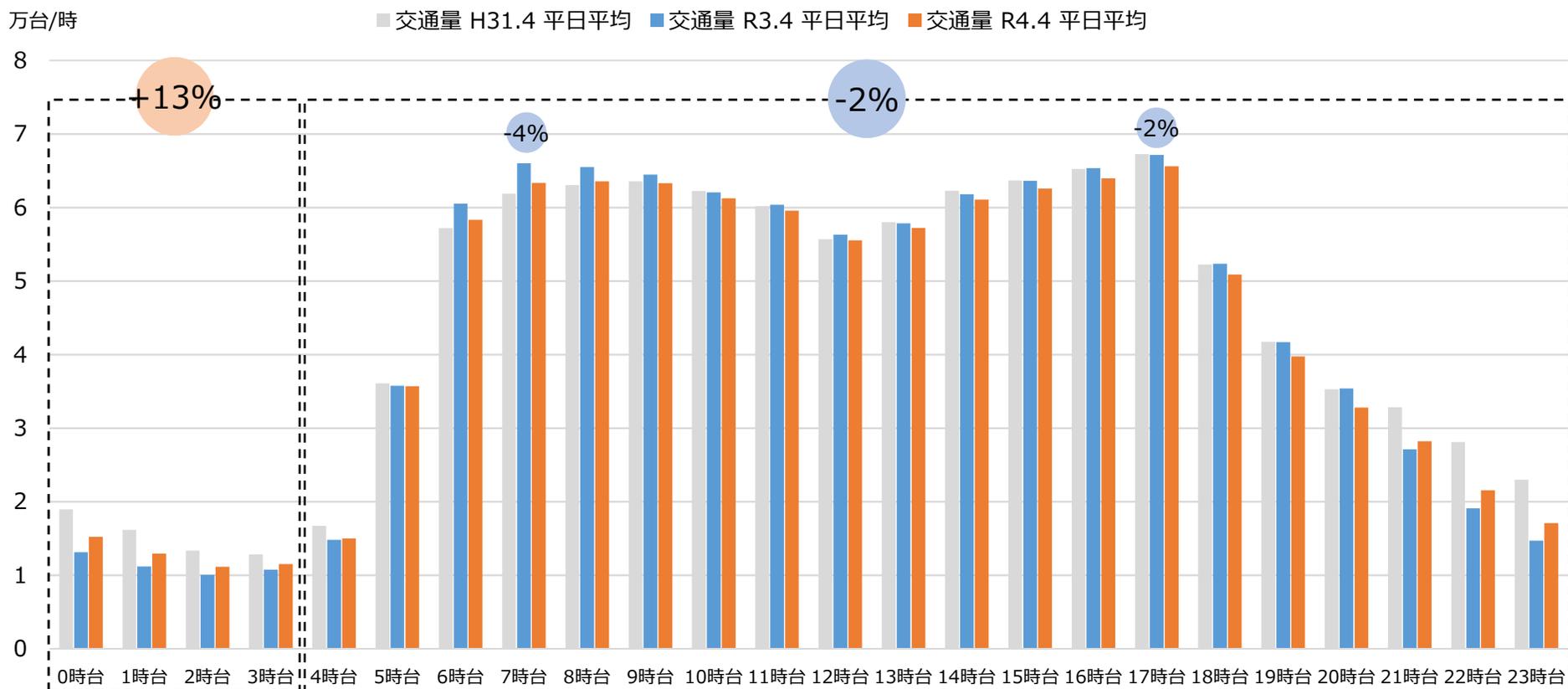
6号三郷線の渋滞損失時間



※都心通過交通量はETCデータによる集計（特異日を除く平日平均）
※R4.4の各数値は速報値

深夜利用が増加する一方、朝夕のピークなど日中の利用が減少

- 首都高速で新たに深夜割引が導入された0時～4時の交通量は前年比で13%増加。
- 4時～24時の交通量は2%減少。
- 朝ピーク時間帯（7時台）の交通量は4%、夕ピーク時間帯（17時台）の交通量は2%減少。

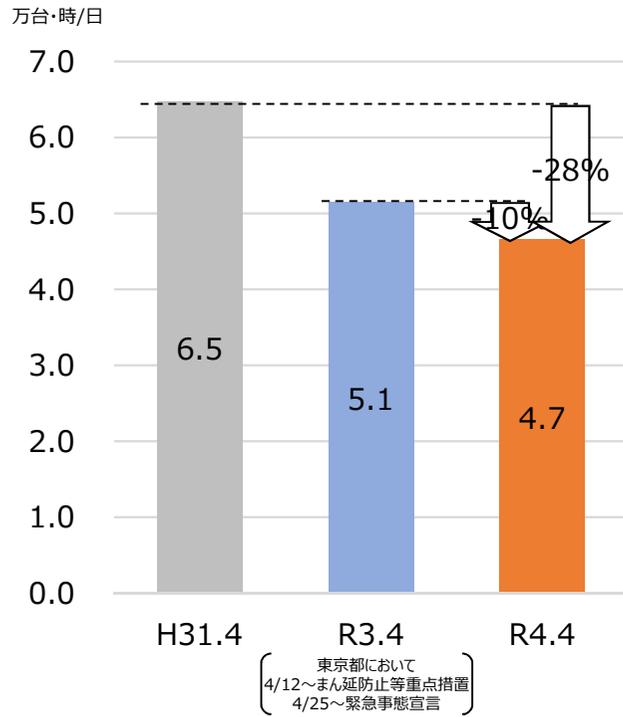


※車両感知器データによる集計（特異日を除く平日平均）
 ※R4.4の各数値は速報値
 ※増減率の数字はR3.4対R4.4

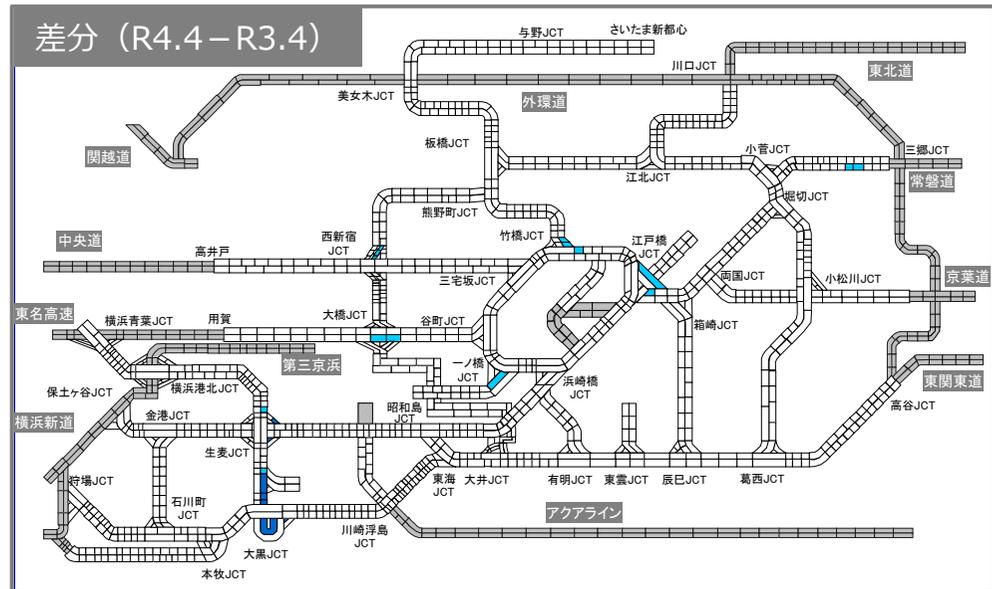
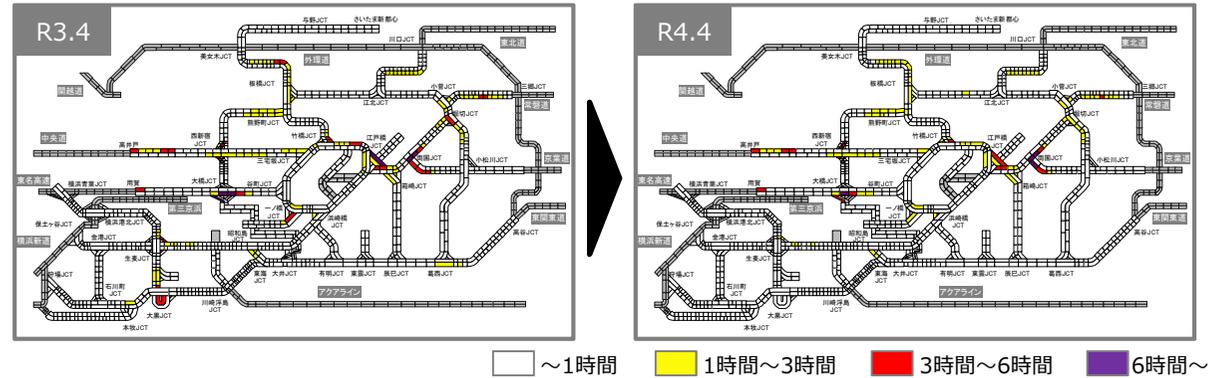
首都高速の渋滞が緩和

- 首都高速の渋滞損失時間は前年比で10%減少。(コロナ禍前の平成31年比で28%減少)
- 交通が集中するJCTの合流などに起因する渋滞が緩和。

首都高全線の渋滞損失時間



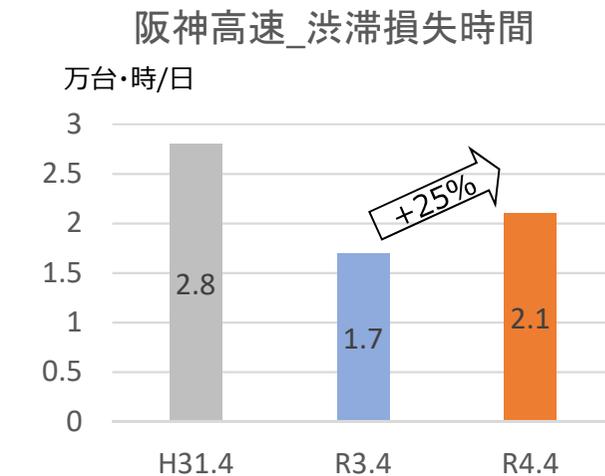
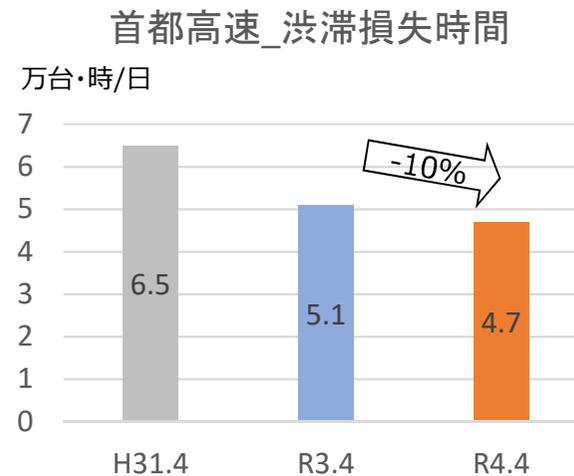
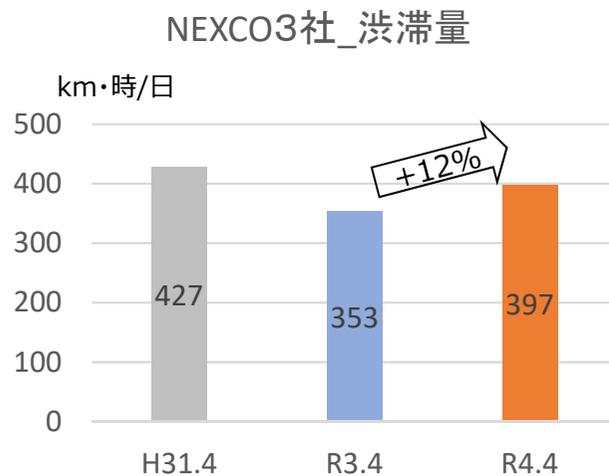
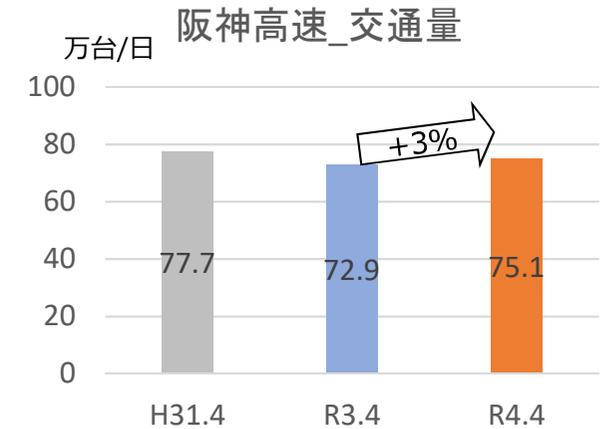
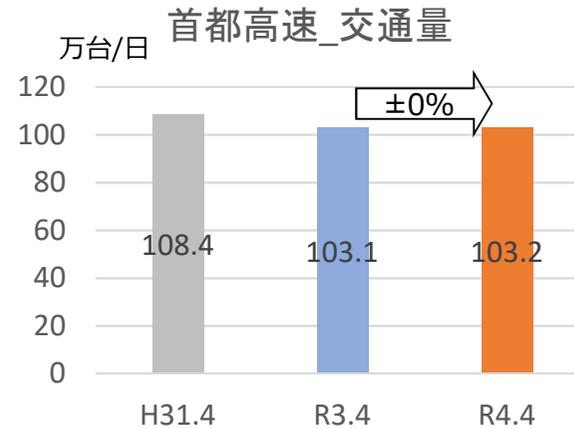
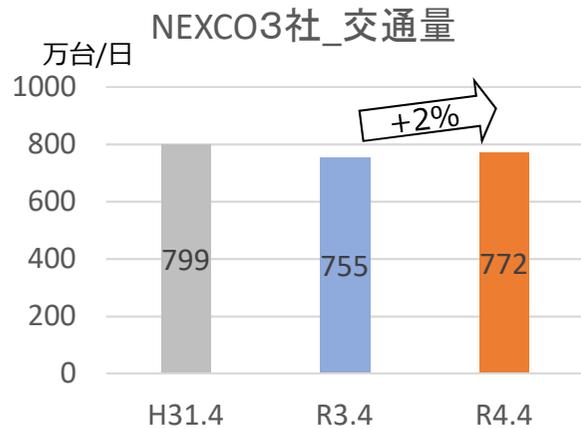
渋滞発生時間



※車両感知器データによる集計 (特異日を除く平日平均)
 ※渋滞損失時間: 全交通量を対象とした、規制速度走行時の所要時間に対して生じる遅れ時間で表される渋滞の規模 (所要時間(時間)-規制速度走行時の所要時間(時間))×交通量(台)
 ※渋滞発生時間とは、1日当たり区間速度が20km/h以下となった時間の合計
 ※R4.4の各数値は速報値

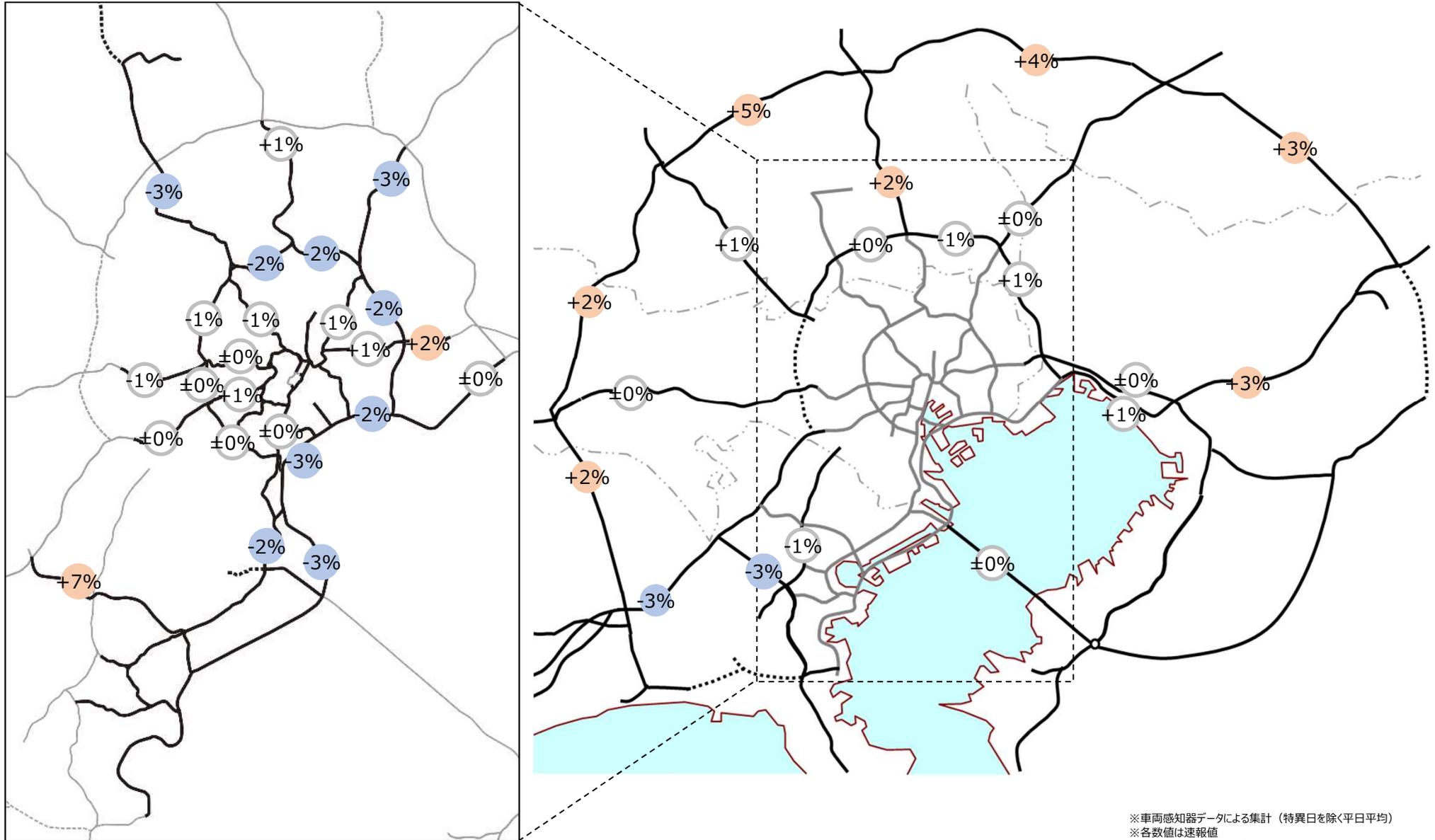
【参考】全国の交通状況

- 交通量は、首都高速では横ばいであるのに対して、全国的には交通量がコロナ禍前の水準に回復する傾向が見られる。
- 渋滞は、首都高速では減少しているのに対して、全国的には増加している。



※特異日を除く平日平均
 ※R4.4の各数値は速報値

【参考】断面交通量の変化(高速道路)



※車両感知器データによる集計（特異日を除く平日平均）
※各数値は速報値
※増減率の数字はR3.4対R4.4

